

全労動 国大会

一層明らかにになった反動分子の 動労私物化とデタラメな組合運営



80.9.2
No. 523

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二二五八、九・（公衆）四三三二、七二〇七

※※※※※※※※

去る八月二十二日から五日間、名古屋市で開催された動労第三六回全国大会において、「本部」反動分子の動労私物化と全くデタラメな組合運営が一層鮮明となった。
われわれは、裏切りと屈服、動労千葉破壊と合理化の尖兵となり下った「本部」反動分子の
一掃、動労大改革にむけ、全国大会の問題点について『日刊』五二〇号に引き続き明らかにす
る。

※※※※※※※※

「五五・一〇」「国鉄三五万人体制」
に論議が集中！

大会は、朝日新聞（8/29・夕刊）でも「赤字
国鉄の重圧にあえぐ国・動労」の見出しで報じら
れているように「五五・一〇」問題について動労
「本部」の「大胆な妥協」路線に対する批判が続
出。

「本部」反動分子の合理化屈服、率先協力の路
線に対する職場生産点で苦闘する組合員の不満の
声と闘いを要求する意見が多くの代議員から出さ
れたのである。

いりまでもなく、われわれは、この間、一貫し
て合理化に屈服し率先協力する「本部」反動分子
の実態を全国の動労組合員の前に明らかにしてき
た。

- ① 貨物合理化の突破口としての武操合理化に対し
「組織拡大」と称する積極的な協力と屈服。
 - ② 「五三・一〇」ダイ改における「貨物安定宣言」
「ストライキ放棄路線をもつてする経営参加・
合理化への率先協力」。
 - ③ 昨年の動労東京地本大会における新たな基地要
員確保のために「協定以外の要員のはき出しが必
要」などと国鉄三五万人体制攻撃の柱である乗務
員運用合理化に屈服・率先協力の方針を確認。
 - ④ そして、今大会における「大胆な妥協」路線を
もつてする積極的な合理化協力・屈服の方針。
- 「本部」反動分子の国鉄三五万人体制攻撃に屈
服し、その「体制」の中で全国の組合員を当局の
前に売り渡し、自らは生き延びようとする裏切り
と反動的な路線に対する全組合員の不満と怒りの
声が多く、代議員から出されたのである。

デタラメな財政運営についても
論議が集中！

さらに動労千葉が早くから指摘してきた「本部」
反動分子の組合財政運営のデタラメさについて、
ついに今大会において全国の組合員の前に明らか
となったのである。

すなわち、一九七九年度闘争資金会計決算が予
算案の倍にあたる四億六七〇〇万円の赤字を計上
したのである。
しかも、一九八〇年四月～六月の三ヶ月間で
でに闘争資金三億八〇〇〇万円も使いはたしてい
るのだ。

つまり、年間予算など全く無視したデタラメ極
まりない財政運営の結果である。

さらに、こうした闘争資金会計の赤字を穴うめ
のために、全国大会はもとより中央委員会にもは
かることなく、中央執行委員会が「スト生活資金」
から二億円、第二闘争資金から一億一〇〇〇万円
その他から約二〇〇〇万円を勝手に流用し、なお
かつ、闘争資金会計一億五五〇〇万円の赤字繰越
しの決算報告を行なったのである。

こうした「本部」反動分子の組合員の貴重な財
産である組合費を湯水のごとく使いはたし、その
穴うめは他の資金会計から勝手に流用するといふ
全くデタラメな財政運営について多くの代議員か
ら追及の発言が出された。

大会をのりきり、一層露骨な動労千葉
破壊を策動する「本部」反動分子！

多くの代議員からの「五五・一〇」「財政問題」
に対する鋭い追及の前に「本部」反動分子は動労
始まって以来の「闘争資金会計予算案の書き替え
修正」と反合方針に対する修正を全て受け入れさ
るを得なかつたのである。

われわれは、こうした「本部」反動分子の裏切
りとペンとデタラメなやり方を許さず、全国の動労組
合員と共に動労大改革をなすとげるため奮闘しよう。

国鉄35万人体制粉碎・55・10ダイヤ改悪阻止
9・5 動労千葉総決起集会
★とぎ・9月5日 18時 ★とぎ千葉駅局前 各支部根（とぎ動員）